礼拝山興亜観音　『伊豆山便り』　令和５年５月１号

〒４１３－０００２　静岡県熱海市伊豆山 1136
電話　FAX　0557-80-0738
URL　itami.seimei@silver.plala.or.jp
礼拝山興亜観音　寺務伊丹靖明　記

境内はつつじの花が今は盛りと咲いています。５月１８日は興亜観音例大祭が営まれます　開始時間は午後１時からです。当日は質素ながらお弁当を用意してありますので召し上がってください。毎月１８日は観音様の日です。

興亜観音例大祭が５月１８日になった訳

例大祭は興亜観音で一番重要な行事です。建立当時は４/１８でしたが当時の役員様が伊豆山神社の役員も兼任されていらしたこと、歴史ある伊豆山神社と同日で有ることに遠慮された松井石根大将は、例大祭を一ヶ月後の 5/18 に変更なさり現在に至っております。皆様のご参列をおねがいいたします。

沢の整備作業に着手しました

沢の階段建設予定地の雑木や竹の伐採を行っています。昨今は落石や倒木の処理に追われて出来ませんでしたが、隣接する丸源殿の業者が落石倒木の防止工事を行う事になりましたので私と家内が沢の整備に集中できるようになりました

愛知県から御参詣者様が来られました

愛知県から四人の御参詣者様が来られました。御参詣者様が申されますに、興亜観音の英霊七士の御遺骨は総て三ヶ根山に納骨されたと書いた小冊子を持参されましたので、それは間違った情報で、興亜観音七士の碑に納骨する際、香盒一杯分の僅かな御遺灰を三ヶ根山に分骨したのであって総てではないとご説明した所、御参詣者様は興亜観音に来て真実を知って良かった、来た甲斐が有ったと納得されて帰られました。

興亜観音も光通信回線になりました

昨年 NTT から伊豆山も電話やインターネット回線が光回線に変わると通知が有りましたので申し込んでいました処、四月に入ってようやく回線交換工事に入りました。使用できるのは四月二十五日からです。

令和５年４月の御参詣者様

先日イタリア人の御夫妻が御参詣に来られました。言葉が通じればよいがと思いながら応接しましたが、案の定言葉が通じず身振り手振りで何とかなりましたが男性の方が知っている限りの日本語で帰る時、コンバンハと言って頭を下げられました?・・・四月の御参詣者様は５５名様です

今年も確定申告をE-tax（電子申告・自宅パソコンで作業）で済ませました。昨年は約2時間、今年は90分くらいで完了、少し進歩しました。年に一度、思い出しだしやるので時間がかかりますがもし毎月やる作業なら30分以内で出来ると思います。申告会場だと待ち時間だけで相当なもので自宅完了で助かっています。家内の通院予約は固定電話のプッシュホン操作でしたが廃止となり問い合わせると「スマホで出来ますよ」との回答でした。家内は私に「パソコンでできる？」、「多分できるはず」。パソコンでやると簡単に取れました。前に書いた宅急便の送り状機械作成、レストランのタブレット注文、マイナカードのポイント取得、、、、回りにはデジタル難民がいっぱいいます。毎日パソコンを使う私ですが急激なデジタル化に閉口しながら土俵際でギリギリ踏みとどまっている、いや今にも押し出されそうな感じです。先日行ったファミリーレストランは水、お茶、お箸、スープ、ドリンクまでセルフサービスでした。これはデジタル化ではありませんがおどろきました。

知人が最近東京ディズニーランドへ行きました。入場ゲートはスマホを掲示して通過するのだそうです。多数の列でたまに画面表示がうまくできない人がいるとその列だけ渋滞、発生させた人は顰蹙を買っていたそうです。また園内の案内図（紙）はなくて各アトラクションの配置図や待ち時間はスマホにアプリケーションをインストールして検索する仕組み、私はもう行けないなあと思いました。調べるとオープンしてから丁度40年経過していました。これほど長期間人気を持続しているテーマパーク、おどろきます。行く予定もありませんが、、、、。

民生委員10年目です。仕事のひとつが「高齢者のみ世帯の定期訪問」で見守り訪問とも呼ばれています。この高齢者の定義が5年かけて70才から75才に引き上げ中です。今年は74才以上で72才の私はなんとか未満で任務を遂行しています。定義変更で高齢者直前に踏みとどまっていますが民生委員は構造的に高齢者と接することが多いです。免許返上した買い物難民とデジタル難民が多数でみんな苦労しています。大体うまい解決策はなくてひたすら話を聞くだけとなります。昨秋から民生委員の仕事が一挙に増えました。小学校、中学校、社会福祉協議会、包括支援センター、まちづくりセンターほかいろんな組織と連絡、打ち合わせがあります。私は無職ながら多数ボランティアを受けていてとても多忙、各種連絡は極力パソコンの電子メールで済ませています。広報紙も作っていて今では写真と原稿を依頼すると原稿も写真も100%電子メールで届きます。そんな中、小学校・中学校のみ電話や紙での連絡です。電子メールで済ませるという習慣がありません。交通安全教室や掛け算の練習などに民生委員の動員依頼がありますが事前に電話があり、約束して依頼文書の受け取りとなります。電話で作業中断され、かつ学校へ文書の受け取りに出向かねばな

りません。民生委員全員への伝達はラインで瞬時に済むのですが、、、。小学校一年生まで一人一台パソコンを持たせた割には学校は遅れています。

地元紙にバイクで掲載されました。シニア・はりきり人生というコーナーで高齢者の活躍を週一回掲載します。過去の掲載を見ると神社の景観整備に励む87才、木彫の仏像製作する80才、つまようじで五重塔や蒸気機関車を作る87才、金時山（1212メートル）に6000回登った81才などが掲載されています。二年前に多数のボランティアを消化していると富士ニュースに掲載されましたが同じ人（マージャンの生徒・女性）が静岡新聞に売り込んでくれて記事になりました。このコーナーにはまだ少し早いかな？とも思います。

令和５年４月　　末包